

南砺市産業振興会議 会議録

1. 開催日時 令和6年10月30日(水) 午後3時30分～午前5時15分
2. 開催場所 南砺市役所 別館大ホール
3. 出席者 委員10名  
川合委員、嶋田委員(代理:神能氏)、山田委員、丸山委員、山川委員、  
打出委員(代理:吉田氏)、土井委員、小林委員、長谷川委員、本多委員
4. 欠席 委員4名  
藤井委員、浦井委員、石川委員、岡部委員
5. アドバイザー (増川氏 欠席)
6. 傍聴人数 0名
7. 次第
  1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 議事 産業振興施策について
    - (1) 商工振興係
    - (2) 企業立地雇用推進係
    - (3) PLAY EARTH PARK 推進室
  4. その他
8. 閉会挨拶(部長)

|      |  |
|------|--|
| 会長挨拶 | 今年度も半期が過ぎ、その経過も見て次年度の事業に向けて話し合いたい。資料に太字で書かれた課題について活発な議論をお願いしたい。<br>(配布資料の確認(式次第、名簿、座席表、会議資料①～③)、出欠の確認)                         |
| 事務局  | 最初に産業振興施策について商工振興係から説明をお願いします。   |
| 会長   | 資料①について説明  |
| 委員   | 意見質問等あれば、ご発言いただきたい。  |
| 事務局  | 創業、新事業創出の支援については、当初の予定通りに進んでいるか。   |
| 委員   | 空き家・空き店舗利用促進事業は、予定より申請数が2件多い。  |
| 事務局  | 事業承継について、事業を渡す側の利用が少ないと説明にあったが、その理由は何か。  |
| 会長   | 渡す側に対する支援として引っ越し費用の補助を一昨年実施したが、利用は少なかった。そもそも後継者を求めている人の情報を得ることができていない。廃業になってからそのような状態にあったということを知ることが多く、事業承継の情報を吸い上げる体制ができていない。 |
| 委員   | 現状、商工会が得ている情報で後継者を求めている人はいるのか。   |
| 事務局  | 話題にあがらず、情報はない。   |
| 委員   | 金融機関には情報はあるか。  |
| 委員   | あまり後継者を求めている相談はない。個人商店の情報をカバーでき  |

|     |   |
|-----|---|
|     | ていない状況である。  |
| 委員  | 法人格のお客様とコミュニケーションをとる機会が多く、小規模事業者のお客様とは少なくなっている。この状態は課題だと認識している。   |
| 委員  | 全国的に見れば、事業承継という考え方は浸透している。<br>日本政策金融公庫では、事業承継のマッチングを無料で行っている。2年前から開始し、今年の9月末で売りたい側が6千社、買いたい側が1万2千社登録している。<br>しかし、富山県内の登録は20、30社である。富山県で少ない理由は、事業承継の方法は個々の事例にあった方法が複数あるのに、イメージが先行し事業の一切合切を渡さなければならないと考えている人が多いからだと感じている。そのため、いろんな事業承継の方法を知ってもらう取り組みを行っている。しかし、現状事業承継の案内を県内に出しても反応が乏しい。成功事例を積み上げることで意識を変えてもらう必要がある。 |
| 委員  | 事業承継の案内はよく見かけるが、一切合切渡さなければいけないというイメージが強い。そのイメージの払拭することが事業承継を進める上で重要と感じる。  |
| 事務局 | 南砺市で小規模事業者後継者支援事業を利用する後継者は、被継承者の家族ばかりである。被継承者とこれまで全く関わりのない方が後継者になる事例は全国にはあるのか。  |
| 委員  | 事例はある。意欲のある第三者が事業を承継している。   |
| 会長  | 「二ホン継業バンク」に登録したA社の状況はどうか。   |
| 事務局 | 全く関わりのない個人や紙に関わる法人からA社にアプローチがある。  |
| 委員  | 「二ホン継業バンク」に正式に登録した場合の費用はいくらか。また、サイトへの掲載件数の上限はあるのか。  |
| 事務局 | 月11万円である。掲載件数の上限は聞いていない。継業バンクに掲載すると一定の反響はあるようだ。   |
| 委員  | a 委員に質問だが、税理士から事業承継についての相談はあるのか。  |
| 委員  | 税理士からの事業承継についての相談はないが、日本政策金融公庫は日本税理士会連合会と協力し事業承継に取り組んでいる。事業承継では、後処理などを地域の税理士に依頼している。  |
| 委員  | 事業承継の第一歩として、資産価値を査定がある。しかし、査定には手数料が必要となり、そこがひとつのハードルになっているのではないかと。また、事業を渡す側ではコストを意識しない方が多く、事業をもらう側では生計が立つかどうかというコストを意識する方が多い。この意識のギャップが話がまとまらない原因ではないか。現状、マッチングを進めてはいるが成功していない。南砺市では事業承継に消極的な人が多いという印象を受ける。   |
| 委員  | 住宅兼店舗の場合、事業を渡す側に店舗をかりてもらい家賃を支払っ   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>てもらおうという方法もある。しかし、富山県の人はその方法を好まない印象を受けている。</p>   |
| 委員  | <p>b委員は空き家を活用しているが、a委員が述べた印象についてどう思うか。</p>  |
| 委員  | <p>私も同じ印象を感じている。所有している物件を売ったり、貸したりすることは恥ずかしいと感じる方が多い。そこで、我々は物件を手放す理由付けする方法を実施している。所有者の意志で物件を手放すのではなく、「地域のため」等の理由を提示するようにしている。</p>   |
| 事務局 | <p>物件を貸すことを嫌がる理由はなにか。</p>   |
| 委員  | <p>自身は南砺市外から移住したため、理由は分からないが貸すことを嫌がる雰囲気が女性活躍の障害にもなっていると感じる。</p>   |
| 委員  | <p>事業を引き継ぐ方について、地域おこし協力隊の副業としてはどうか。それによって、経済的な不安は軽減されるのではないか。また、地域おこし協力隊員を事業を渡す側とマッチングさせることもできるのではないか。</p>  |
| 事務局 | <p>地域おこし協力隊員を活用したいという意見は以前からある。検討したい。</p>   |
| 委員  | <p>空き家・空き店舗補助金利用者が、利用から数年が経ち法人化を考えているがハードルが高く難しい状態となっている。補助金利用者の経過観察を行い、必要な施策を講じてほしい。また、起業家育成支援の利用者は30代以降が多い。20代なら500万円補助するなど若者への大きなインセンティブが必要ではないか。若者を重視した施策を実施してもらいたい。ケイギョウラボでB社の事業承継が決まった方が脱落されたと聞いている。その原因は過大な期待やもてはやしではないか。事業承継が決定して以降放置されていた印象が強い。コスト面、メンタル面での伴走支援が必要だと感じる。</p> |
| 事務局 | <p>若者へのインセンティブについては検討を行う。</p> <p>ケイギョウラボとも話したが、事業承継される方の南砺市でのコミュニティづくりが課題だと認識している。</p>  |
| 委員  | <p>地元のコミュニティづくりが実施されていたら、結果は違っていたかもしれない。</p>  |
| 委員  | <p>近年起業された方は南砺市商工会に加盟しているか。</p>   |
| 委員  | <p>補助金を利用する場合は南砺市商工会への加盟が必須だが、加盟した方がいない方もいる。</p>  |
| 委員  | <p>南砺市商工会加盟のメリットは何か。</p>  |
| 委員  | <p>南砺市商工会からの経営支援などがあるが、魅力的に感じない方がいるのではないか。仕入れ先が南砺市外であると特にメリットを感じないのでは。市内で仕入れから提供までの循環が成立することが重要であり、その循環が成立していないことが南砺市の抱える課題だと感じる。</p>   |
| 委員  | <p>南砺市の課題として、中小企業において今後事務経理を担う人材がい</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>なくなるのではないかとということがある。インボイス導入を期に廃業を決意された事例も聞いている。このような部分についても補助が必要ではないか。</p>   |
| 委員  | <p>インボイスについては、新規事業者のハードルのひとつでもある。</p>   |
| 会長  | <p>そこを担う委託先はあるか。</p>  |
| 委員  | <p>アウトソーシングもあるが、費用がかかり事業者への負担となる。インボイスについてはある程度知識を習得する必要がある。</p>  |
| 会長  | <p>市はどのように考えるか。小規模の事業者までは南砺市商工会ではカバーしきれない恐れがある。</p>   |
| 事務局 | <p>経理システムの導入に関する相談はあった。この事例については、若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金を使用して対応した。補助金交付のためには、若者・女性に対して会社の制度がある程度整っている必要がある。その認定を受けた企業が、システム導入による業務負担軽減などに利用できる。しかし、個人事業者に対して補助は現状難しい。</p> |
| 会長  | <p>次に企業立地雇用推進事業について説明をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>資料2について説明</p>  |
| 会長  | <p>事務局で満足度が高い補助メニューはあるか。</p>  |
| 事務局 | <p>満足度の高さでは、若者・女性採用企業応援プロジェクト、若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金が挙げられる。また、市内企業就職奨励事業補助金は今年度80名以上申請があり認知度があがってきたと感じている。金沢市で転職と検索した人向けにWeb広告を行った効果を感じている。</p>                          |
| 会長  | <p>都市部の人の南砺市企業への企業見学の実績はあるか。</p>  |
| 事務局 | <p>今のところない。なんとジョブへ企業見学が可能な曜日・時間帯の情報の追加を検討している。</p>  |
| 委員  | <p>昨年度実施したU-35のイベントに南砺市商工会からは青年部長と他1名が参加した。集中して若者が話を聞いてくれたと聞いている。都市部にいながら南砺市と繋がりたいと考える層がいると感じた。</p>   |
| 事務局 | <p>昨年度は33名参加があった。東京周辺の30歳が多かった。アンケートでは、市内企業の話をもっと聞きたいという意見があった。Uターンを考えている若者も一定数いると感じた。南砺市で暮らす生き方を若者へ選択肢として提示していきたい。</p>   |
| 委員  | <p>企業見学について、富山県が交通費の1/2の補助を行っているが残りの費用について支援してはどうか。交通費がハードルになっている場合があり、対策を考えてみてはどうか。</p> <p>また、都市部で行う市出身の若者等が参加する交流会について若者世代だけではなく、役職定年を迎える55歳を狙ってシニア世代も対象にしてはどうか。</p>  |
| 会長  | <p>事務局の考えを聞きたい。</p>   |
| 事務局 | <p>交通費については、残りの1/2部分の補助を検討したい。また、シニア</p>  |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 委員              | <p>世代を狙うという視点はこれまでになかった。プロフェッショナル人材にどのようにアプローチすればいいかお聞きしたい。</p> <p>役員報酬として 55 歳まで年収 500 万円程度だったものが、役職定年後は年収 300 万円程度となっている。年収 400 万円を保障すれば移住を考える方もいるのではないか。</p>                                   |
| 事務局             | <p>これまで実施してきた支援として、若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金の中の魅力発信において、企業説明会やインターンシップの企業の参加費を補助している。</p>   |
| 委員              | <p>インターンシップの内容をより検討してはどうか。都心部の会社では出張体験を行う企業もある。</p> <p>南砺市まで足を伸ばしてもらえるように市が手助けしてはどうか。</p>   |
| 委員              | <p>若者・女性採用企業応援プロジェクト、若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金は好評であるため、継続してほしい。</p> <p>若者・女性採用企業応援プロジェクトについて、面談回数を 3 回と決めるのではなく、課題に応じて回数を増やしてほしい。評価制度の導入などの課題は面談回数 3 回は少なく感じる。</p>                                    |
| 事務局             | <p>若者・女性採用企業応援プロジェクトの面談回数は基本 3 回としたい。課題解決しない場合は、若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金の専門家外部人材活用を利用してもらいたい。</p>  |
| 委員              | <p>なんと未来創造塾では、南砺市の 10 代～20 代女性流出が顕著であるというデータが示された。砺波市では、30 代の流入が多い傾向がある。一定数都市部から戻ってくる人が存在している。</p>  |
| 会長<br>委員        | <p>c 委員に意見を伺いたい。</p> <p>自身が U ターンした側である。自然豊かなところで子育てをしたいことが理由である。子育て層である 40 代の家族もターゲットとしてはどうか。</p>  |
| 事務局<br>会長<br>委員 | <p>空き店舗空き工場バンクの構築は良い取り組みだと感じる。現状私に対して倉庫兼店舗にできる物件の問い合わせがある。</p> <p>空き店舗空き工場について HP で情報を積極的に発信していきたい。</p> <p>空き店舗、空き工場の周辺環境も分かる形で発信してはどうか。</p> <p>空き工場内に機械などがあって断念したと相談も受けた。廃業後に片付け等の支援は行っているか。</p> |
| 事務局             | <p>住宅の空き家については家主に対して片付けの補助はあるが、工場についてはない。今後検討したい。</p>   |
| 委員              | <p>若者へのインセンティブについて意見があったが、奨学金返済支援事業補助金は若い世代の起業のハードルとなっている部分に作用していると感じるので支援を継続してほしい。</p> <p>施策全体に対しての意見であるが、どうなりたいかというビジョンを明確にしてから施策に取り組んでいただきたいと感じる。</p>  |
| 会長              | <p>次に PLAY EARTH PARK 推進事業について説明をお願いします。</p>  |

|                |   |
|----------------|---|
| 事務局            | 資料3について説明   |
| 委員             | PLAY EARTH PARK NATURING FOREST の具体的な構想が気になる。地元の商店街への影響はないか。  |
| 会長             | PLAY EARTH PARK Nanto Naturing Days のイベントの南砺市外から出店した所は南砺市の食材は使用していたのか。  |
| 事務局            | 必ず南砺市の食材を使用するようにしていた。   |
| 委員             | 不透明なところが多く感じる。城端との連携はできているのか。   |
| 事務局            | 11月末に立野原の会に株式会社ゴールドウインも参画する予定である。また、令和7年の春以降に具体的な計画を公表する予定である。PLAY EARTH PARK NATURING FOREST の効果が市内全域に波及できるように検討していく。  |
| 委員             | 公表が令和7年の春以降というのは遅いのでは。  |
| 事務局            | 水面下では進行中である。ご理解いただきたい。  |
| 委員             | ゴールドウインと秘密保持契約を交わすなどして、城端地域には先に情報を伝えてほしい。   |
| 事務局            | PLAY EARTH PARK 事業をしっかりと進めていきたい。まずは用地取得を行う。   |
| 委員             | これから市が用地取得するが、ゆくゆくは株式会社ゴールドウインがその用地を買い取るのか。   |
| 事務局            | 地権者との条件でもあるため、市で保有し続ける予定である。  |
| 会長             | 事務局より本日の議論のまとめをお願いします。  |
| 事務局            | 商工振興係の施策について、住宅兼店舗の空き店舗の再生と後継者を募集事業者支援の体制が課題としてある。会議での意見を受け、難しいこともあると思うが理由付けを行うという方向で事業承継の課題に取り組んでいきたい。そして、成功事例を積み上げていきたい。  |
|                | 企業立地雇用推進係の施策では、「若者」をキーワードにして大企業も対象にして家賃補助を行ったり、アパートなどの建設促進を行ったりして人口対策の施策を推進していきたい。  |
|                | PLAY EARTH PARK 事業については、もうしばらく情報開示をお待ちいただきたい。期待を裏切らないように進めていきたい。  |
| ブランド戦略<br>部長挨拶 | 本日伺ったご意見は来年度の施策に反映する。起業家への支援については、継続的な支援を行いたい。若者の定着を目指し、居心地の良い環境をつくる視点で施策を講じていきたい。人口対策として、働き場の確保は必須である。それは行政だけではできないことであり、民間企業と協力していきたい。協力を行うためには、この産業振興会議の場だけでは足りないと感じている。民間企業の組織を作り官民一体となって施策について議論してもらいたい。 |
| 委員             | 法人グループを組織することは難しい。  |
| ブランド戦略部長       | 行政が空回りしないために、民間企業と意見を交わしたい。   |
| 委員             | 組織を作るのではなく、個人を指名してはどうか。   |

|                 |   |
|-----------------|---|
| ブランド戦略部長<br>事務局 | 人選等協力をお願いする。<br>産業振興会議委員の任期は今年度までである。これまでの協力に感謝<br>申し上げる。来年度から新しい組織となるが、皆様のご協力をお願いす<br>る。 |
|                 | 閉 会   |